




**【気象庁】**  
http://www.jma.go.jp/jma/index.html  
気象庁では気象予報のほか、レーダによる降水状況などの情報を提供しています。  
(出典:気象庁ホームページより)



**【国土交通省 防災情報提供センター】**  
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/  
＜携帯サイト＞  
http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html  
**【国土交通省 XバンドMP レーダ雨量情報】**  
http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html



**視聴方法**

- NHK放送画面の時に、リモコンの「a」ボタンを押す
- TOPメニューの「生活・防災情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 「河川・雨量情報」を選んで決定ボタンを押す。
- 受信機に登録されている郵便番号を判別し、お住まいの地域の地図画面が表示されます。

**【大阪府 洪水リスク表示図】**  
http://www.river.pref.osaka.jp/  
地先における河川氾濫や浸水の可能性を確認できます。



**【大阪府都市整備部河川室河川防災情報】**  
http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/  
淀川左岸ブロックの雨量、河川の水位状況を確認できます。



**【おおさか防災ネット】**  
http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html  
緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

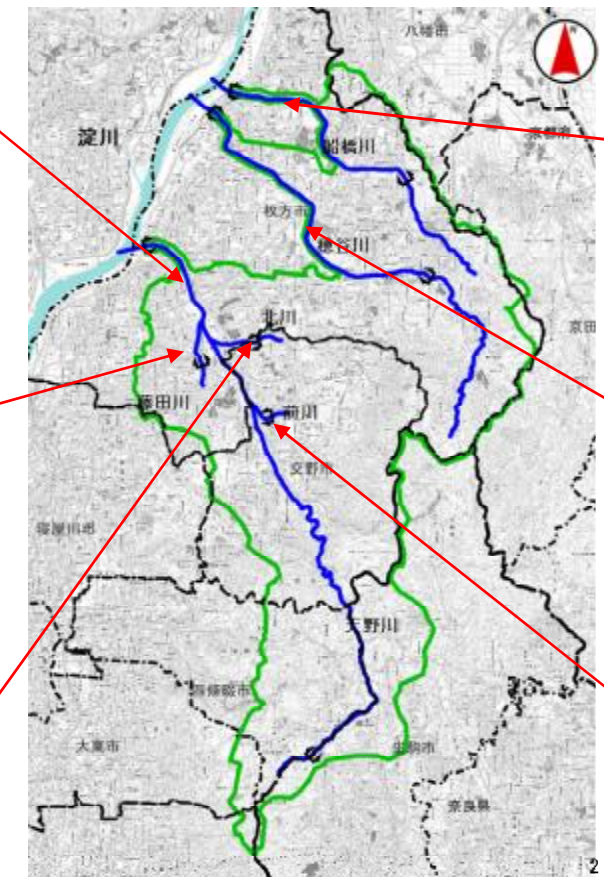



枚方市出屋敷元町（出屋敷橋上流）を流れる穂谷川

淀川左岸ブロックについて

流域市：枚方市、交野市、四條畷市外5市


大阪と京都を結ぶ主要な交通が集中  
宅地開発などの都市化が上流の山地付近まで進んでいる



防災情報を携帯電話で入手できます。  
下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

**川の防災情報**

雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。  
http://i.river.go.jp/  
直接アクセスしてください



**大阪府河川情報**

身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。  
http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html  
直接アクセスしてください



**防災情報メール**


地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。  
touroku@osaka-bousai.net



淀川左岸ブロック河川整備計画（変更原案）の詳しい内容について知りたい方は

- (1) 以下のホームページに掲載しています。
  - 大阪府河川室（アドレス [http://www.pref.osaka.jp/s\\_kasen/](http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)）
  - 大阪府枚方土木事務所（アドレス <http://www.pref.osaka.lg.jp/hirado/information/index.html>）
- (2) 以下の場所に資料を備えています。
  - 大阪府 府政情報センター
  - 大阪府 河川室
  - 大阪府 枚方土木事務所
  - 枚方市役所 情報公開コーナー
  - 交野市 土木建設課
  - 四條畷市役所 情報公開コーナー

閲覧と意見募集期間は、  
5月30日(金)から  
6月13日(金)まで




ご意見はこちらまで

《郵送・FAXの場合》  
〒573-0027  
大阪府枚方市大垣内町2丁目15-1 北河内府民センタービル内  
大阪府枚方土木事務所河川砂防グループ あて  
FAX 072-844-1331 (代)

《電子メールの場合》  
メールアドレス [hirakatadoboku-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:hirakatadoboku-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp)  
(大阪府枚方土木事務所河川砂防グループ あて)

いただいたご意見を踏まえ  
河川整備計画の対応方針の  
検討を進めてまいります。



## 今後の治水対策の進め方 (H27.6策定)

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。

【取組み方針】

- (1) 現状での河川はん蓋・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川はん蓋・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標（今後20～30年）の設定】

○時間雨量50ミリ程度<sup>※1</sup>の降雨で床下浸水が発生させない。かつ、少なくとも時間雨量65ミリ程度の降雨で床上浸水が発生させない。

【河川情報の提供】

○住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

※1 時間雨量50ミリ程度の降雨は、10年に一度発生する恐れがある降雨  
 ※2 時間雨量65ミリ程度の降雨は、30年に一度発生する恐れがある降雨

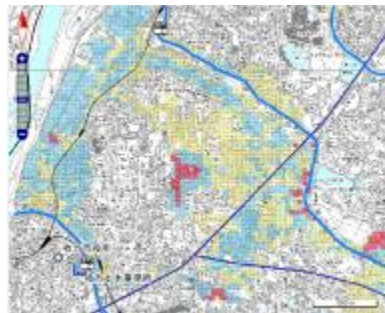
## 将来目標（長期計画）

○府管理の全河川について、時間雨量80ミリ程度<sup>※3</sup>の降雨でも、川があふれて、家が流され、人がなくなるようなことをなくす。

※3 時間雨量80ミリ程度の降雨は、100年に一度発生する恐れがある降雨

河川整備が進めば・・・

対策前（現況）



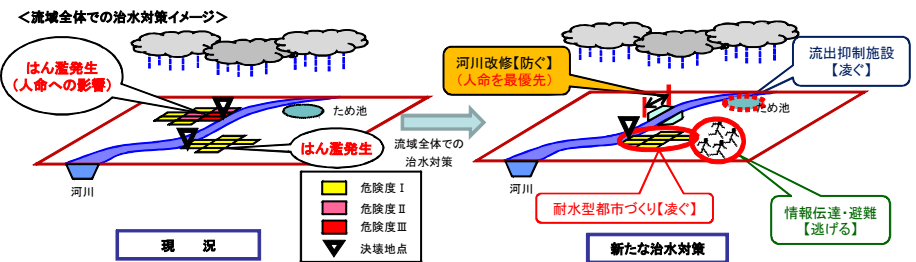
当面の治水目標達成後



★河川整備には長期間を要し、整備途中でも洪水リスクがある。  
 ★当面の治水目標達成後も、局地的な集中豪雨や計画の規模を超える豪雨等により浸水リスクは残る。

## 総合的・効果的な治水手法の組み合わせ

- 流出抑制** 雨が降っても河川へ出る水量を減らす。（家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用など）
- 治水施設の保全・整備** 河川堤防の決壊によるはん蓋をできるだけ回避するなど、河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。（河川改修・堆積土砂除去など）
- 耐水型都市づくり** 河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。（家屋の耐水化・高床化などの促進）
- 情報伝達・避難** 河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。（洪水はん蓋・浸水による危険性の周知、避難体制づくりの促進など）

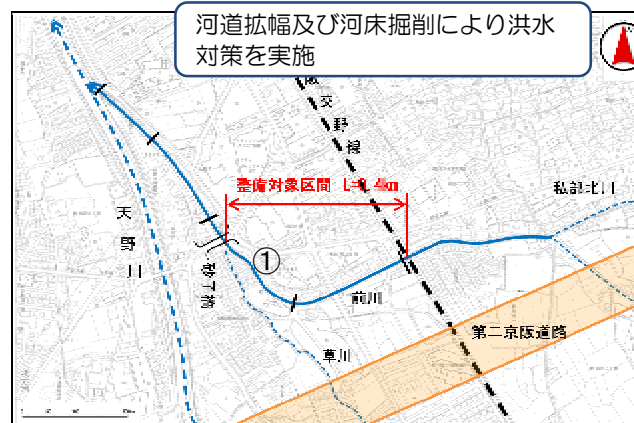
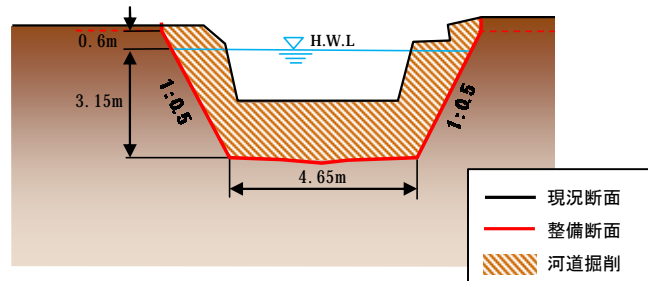


## 「防ぐ」ための・・・

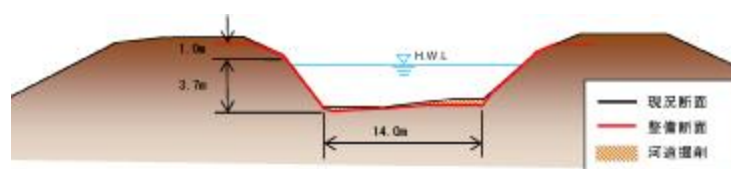
### 河川整備（洪水対策）

河床掘削等による洪水対策を実施し、流下能力を確保します。  
 当面の治水目標として、前川は時間雨量65ミリ程度の降雨を安全に流下させることとし、穂谷川は時間雨量80ミリ程度の降雨で床上浸水以上の被害を防ぐこととします。

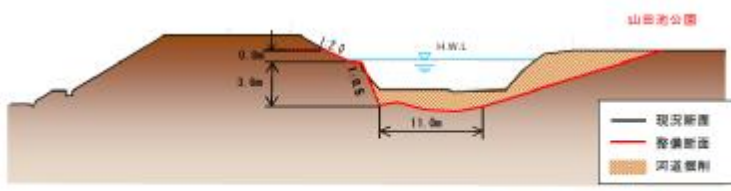
①前川  
0.5km付近  
砂子橋上流地点



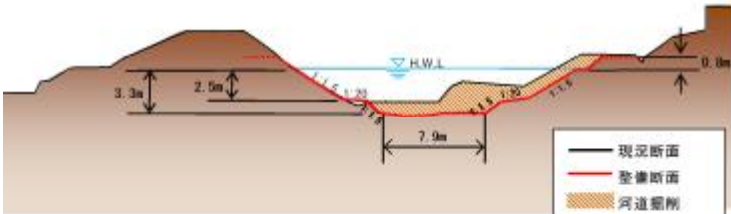
②穂谷川  
1.4km付近  
国道1号下流地点



③穂谷川  
4.1km付近  
山田池公園地点

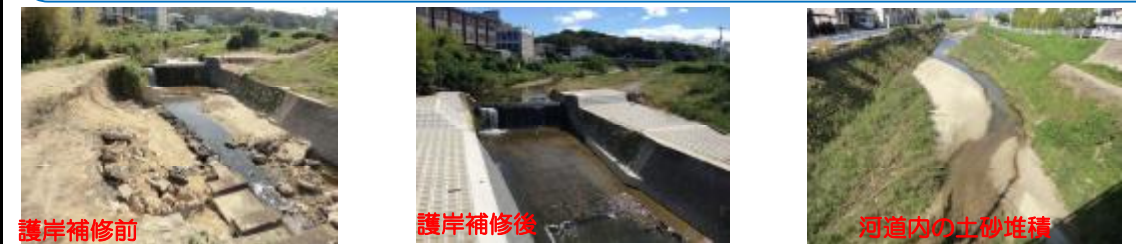


④穂谷川  
4.4km付近  
山田池橋上流地点



## 河川の維持管理

- 堤防や護岸などの河川管理施設の定期点検や緊急点検の実施
- 土砂堆積や植生繁茂を定期的に調査
- 河川管理施設の被災時には応急対策を実施し、出水後に速やかな機能回復を実施
- 許可工作物（取水堰や橋梁）などについても河川管理施設と同等の点検・補修を行わせるなどの指導
- 地先の危険度などを考慮して優先順位を決め、計画的に維持管理を行う
- 定期的な河川パトロールを実施し、違法な耕作や工作物の設置についての監視
- 不法投棄によるごみは、適宜回収



## 地域や関係機関との連携

- ため池の雨水貯留機能の保全（ため池管理者や関係団体）
- 道路、公園、学校グラウンド等を利用した雨水貯留施設の設置（施設管理者）
- 住宅等の開発行為に伴う調整池の恒久化（開発事業者）
- 農地・森林の保全（水源涵養、保水機能）
- 建物の耐水化、土地利用の誘導（河川氾濫時、流水時）
- 各戸貯留施設の設置（地域住民への啓発活動）
- 情報提供（地域住民 枚方市、交野市、四條畷市）
- 河川愛護活動への支援（地域住民、NPO）
- 地域住民やNPO団体と河川環境の保全・再生・美化活動など連携した維持管理の実施

